

諏訪の景気動向

平成19年 5月

(平成19年4月末D・調査)

平成19年4月16日

諏訪信用金庫

経営相談室

諏訪地方の景気動向（平成 19 年 4 月末）

「平成 19 年 4 月末アンケート調査および企業訪問ヒヤリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

諏訪地方 202 社のご協力を得て行った 4 月末の「景気動向調査（D I 調査）」では、回答全社での業況判断 D I は 9.9 で前回調査時（平成 19 年 1 月末）より 3.5 ポイントのマイナス幅拡大となった。

製造業の業況判断 D I は、「好転」12.2%・「悪化」25.0%で 12.8 と前回調査時の 5.2 から 7.6 ポイント低下している。受注動向 D I は 12.9 であるが、前回調査時より僅かに回復している。

規模別では、従業員数「100 人以上企業」の受注動向 D I は 3.2 と前回調査時の 27.6 より大幅（24.4 ポイント）に改善しているが、「30 人～99 人企業」は 10.6、「1 人～29 人企業」は 18.8 と改善がみられない。

業種別の受注動向 D I は、電気機械が 10.7 と前回調査時の 23.3 から 12.6 ポイント良化するなど回復傾向にある一方で、一般機械が 21.4 と前回調査時の 9.8 から 11.6 ポイント悪化している。

「3 ヶ月後」の受注予想は不変が最も多いものの、輸送用機械を除いた 4 業種で受注予想 D I がマイナスであるなど慎重な見方が多い。製造業全体での受注予想 D I は 8.3 と、前回調査時の 8.5 から 16.8 ポイント悪化するとともに 5 期ぶりにマイナスに転じた。

ヒヤリング調査では、デジタル一眼レフカメラ関連企業や自動車関連企業で引き続き堅調な見通しがきかれたが、携帯電話、情報機器などの電気機械関連企業は、大手企業の在庫調整の影響から受注が弱含んでいるとの見方が多い。

地域製造業の現況は、ヒヤリング調査や受注予想 D I では受注が減少すると予想する企業が多いことから、底堅い動きのなかでの弱含み状況とみられる。

商業は、数日の周期で変化する寒暖の差の大きい天候の影響を受け、前年同期比業況判断 D I は 17.6 となった。来店客数は、雨が少なかったことや各店の営業努力により前年同期比では 31.3%の店舗で増えたとしているが、店舗間の価格競争の激化から前年同期比の客単価は 41.2%の店舗で下がったとしている。園芸商品などの取扱い店舗に、業況が好転した企業がみられる。

観光は、ゴールデンウィーク前半の 3 連休は天候にも恵まれ、地域の行楽地は多くの入り込み客で賑い、ゴールデンウィーク後半の宿泊予約も順調なところが多い。

業況判断 D I は、「3 ヶ月前比」ではプラスとなるも、「前年同期比」では 10.0 とマイナスに転じた。ただし、「3 ヶ月後の予想」では、NHK 大河ドラマ「風林火山」による集客効果や本格的な観光シーズンを迎えることから業況予想 D I は 80.0 と好転を見込む企業が多い。

建設業は、公官庁の年度切り替え時期のため公共工事の発注が少なく、また前回調査時は「平成 18 年 7 月豪雨災害」関連工事の受注が多かったことから業況判断 D I は 18.8 とマイナスに転じた。

しかし、前年同期比業況判断 D I は 6.3、業況予想 D I は 12.5 とプラス基調で推移している。

雇用状況は、3月の諏訪地方（諏訪職安・岡谷職安合算）の有効求人倍率が1.41倍と平成15年10月から42ヶ月連続して1倍台を維持しており安定している。

新規求人は、諏訪・岡谷職安合わせて1,642人と前年同月比16.9%減少している。また、新規求職者数も966人で前年同月比0.1%減少している。

回答全社の収益性DIは、前回調査比6.2ポイント悪化し23.5となった。非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）の収益性DIは7.1ポイント改善したが、製造業の収益性DIは27.9と前回調査時に比べ10.9ポイント悪化した。製造業は受注状況に弱さがみられるなかで、原材料や素材の高止まり、コストダウン要請による受注単価の引き下げなどが続いていること、非製造業も店舗・企業間の販売競争が激しいことなどから、地域企業の多くが大企業の好調な景況感と異なる実態が窺える。

業況判断DIの推移 「3ヶ月前と比較して」

回答全社（202社）の「3ヶ月前比」の業況は、好転とする企業が13.9%、悪化とする企業が23.8%で業況判断DIは9.9と前回調査時の6.4から幾分マイナス幅が拡大している。

製造業の業況判断DIは12.8で前回調査時の5.2から悪化傾向を強めている。主要5業種の業況判断DIは、金属製品はマイナス幅が縮小しているが、一般機械・電気機械・輸送用機械で悪化している。

非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）全体での業況判断DIは1.9で前回調査時の10.0から回復しているが、建設業が18.8と前回調査時の0.0からマイナスに転じ、観光・サービス業は5.0と季節要因もあるが前回調査時の29.4から大きくプラスに転じるなど業種により区々となっている。

産業別業況表

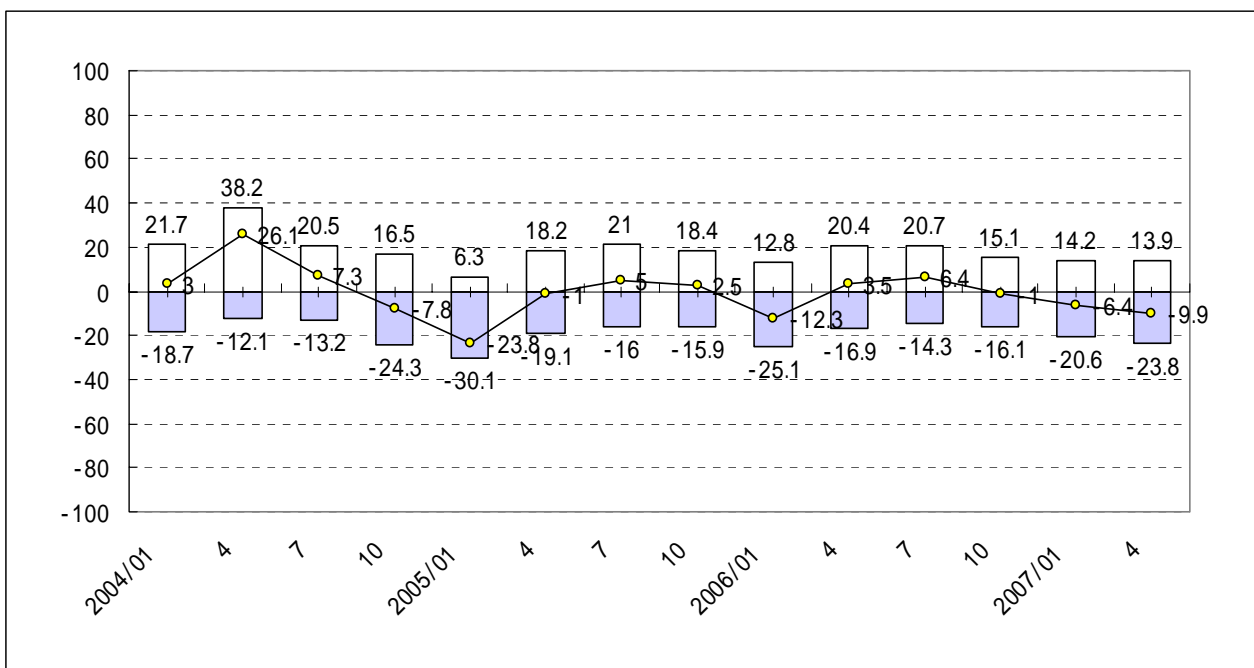
（企業数・%）表 - 1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	202	13.9	62.4	23.8	-9.9	202	20.3	47.5	32.2	-11.9	200	22.0	62.5	15.5	6.5
製造業	148	12.2	62.8	25.0	-12.8	148	20.9	44.6	34.5	-13.5	146	13.7	67.1	19.2	-5.5
非製造業	54	18.5	61.1	20.4	-1.9	54	18.5	55.6	25.9	-7.4	54	44.4	50.0	5.6	38.9
商業(大型店)	17	17.6	70.6	11.8	5.9	17	17.6	47.1	35.3	-17.6	17	29.4	58.8	11.8	17.6
建設業	16	0.0	81.3	18.8	-18.8	16	18.8	68.8	12.5	6.3	16	18.8	75.0	6.3	12.5
観光・サービス	20	35.0	35.0	30.0	5.0	20	20.0	50.0	30.0	-10.0	20	80.0	20.0	0.0	80.0

自社業況判断DIの推移

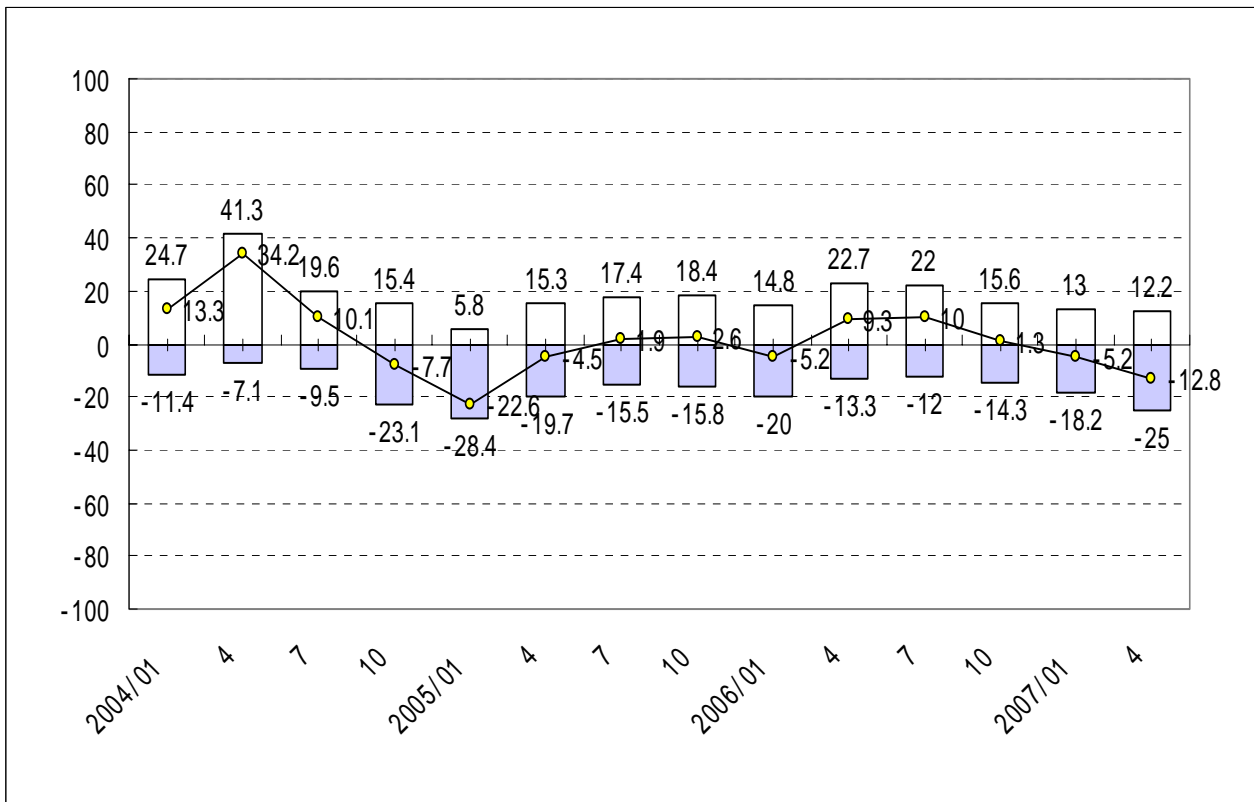
回答全社：「3ヶ月前」と比べて

グラフ - 1



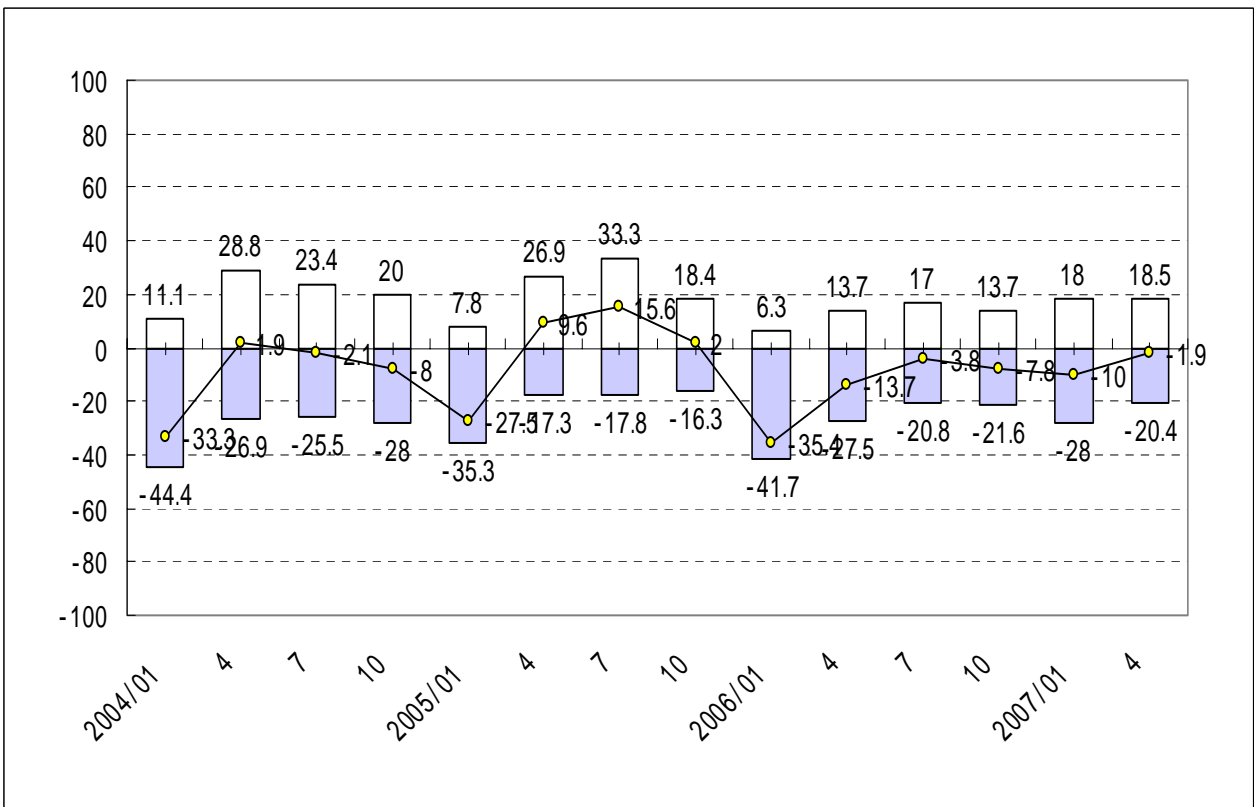
製造業：「3ヶ月前」と比べて

グラフ - 2



非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）：「3ヶ月前」と比べて

グラフ - 3



産業別景気動向

1. 製造業

製造業の業況判断DIは 12.8 と前回調査時の 5.2 から 7.6 ポイント低下している。主要 5 業種の業況判断DIは、金属製品が 14.3 で前回調査比 10.7 ポイント好転、精密機械が 0.0 で前回調査比 21.4 ポイント好転したが、一般機械・電気機械・輸送用機械で悪化している。

収益性DIは、原材料等の高止まりや更なるコストダウン要請などから 27.9 と 4 期連続してマイナス幅が拡大し、最近 3 カ年では平成 17 年 1 月 (30.5) に次ぐ低い水準となっている。

規模別の業況判断DIは、「100人以上企業」で 6.5 と前回調査比 14.2 ポイント改善しているが、「30人～99人企業」で 10.4 と前回調査比 14.5 ポイント悪化、「1人～29人企業」で 17.4 と前回調査比 12.1 ポイント悪化となっている。また、全ての企業規模で前年同期比業況判断DIは約 20 ポイント低下しており、業況に低調感が強まっている。

また、業況予想DIは全社で 5.5 と前回調査時より 4.8 ポイント悪化している。ただし、「100人以上企業」は 19.4%の企業が好転するとして前回調査比 13.4 ポイント改善し 6.5 となっている。「1人～29人企業」は 25.4%の企業で悪化するとして前回調査比 11.9 ポイント悪化し 11.9 となるなど、企業規模により先行きの見方に温度差がみられる。

地域製造業の業況判断DIは 12.8 で前回調査比 7.6 ポイント悪化したが、全社では 62.8%の企業が「横這」としており、また前年同期比の業況判断DIは 13.5 ポイントであることから、景況は幾分弱含みとなっている。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表 - 2

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
製造業	148	12.2	62.8	25.0	-12.8	148	20.9	44.6	34.5	-13.5	146	13.7	67.1	19.2	-5.5	
規 模	1～29人	69	8.7	65.2	26.1	-17.4	69	15.9	43.5	40.6	-24.6	67	13.4	61.2	25.4	-11.9
	30～99人	48	12.5	64.6	22.9	-10.4	48	27.1	50.0	22.9	4.2	48	10.4	75.0	14.6	-4.2
	100～人	31	19.4	54.8	25.8	-6.5	31	22.6	38.7	38.7	-16.1	31	19.4	67.7	12.9	6.5
中 分 類	金属製品製造業	21	19.0	47.6	33.3	-14.3	21	23.8	33.3	42.9	-19	21	0.0	81.0	19.0	-19.0
	一般機械器具製造業	42	7.1	69.0	23.8	-16.7	42	9.5	50.0	40.5	-31.0	41	17.1	65.9	17.1	0.0
	電気機械器具製造業	28	21.4	39.3	39.3	-17.9	28	28.6	35.7	35.7	-7.1	28	14.3	64.3	21.4	-7.1
	輸送用機械器具製造業	15	6.7	80.0	13.3	-6.7	15	26.7	53.3	20.0	6.7	15	33.3	60.0	6.7	26.7
	精密機械器具製造業	16	12.5	75.0	12.5	0.0	16	18.8	62.5	18.8	0.0	15	13.3	73.3	13.3	0.0

諏訪地方製造品出荷額の 70% を占める中分類 5 業種の業況

金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断DIは 14.3 と前回調査時比 10.7 ポイント回復しているが、前年同期比では 42.9%の企

業が悪化したとしており、前年同期比業況判断D Iは前回調査比9.5ポイント悪化し19.0となっている。また、業況予想D Iは19.0で「横這い」とする企業が81.0%みられ慎重な見方が多い。

一般機械（工作機械、専用機械、省力機械、検査機械、半導体関連製造設備など）
業況判断D Iは16.7とマイナスに転じた。また、前年同期比業況判断では40.5%の企業が悪化したとしており、専用機械などに受注が減少した企業が多くみられる。

電気機械（家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど）

業況判断D Iは17.9と前回調査時より幾分マイナス幅が広がった。また、前年同期比業況判断D Iは前回調査時の16.7から23.8ポイント悪化し7.1とマイナスに転じた。

輸送用機械（自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など）

前年同期比業況判断D Iは6.7と前回調査比32.2ポイント低下したが、3ヶ月後の予想では33.3%の企業が好転を予想していることから、業況予想D Iは26.7と見通しを明るくみている企業が多い。

精密機械（時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など）

業況判断D Iは21.4ポイント、前年同期比業況判断D Iは7.1ポイント、業況予想D Iは7.1ポイントとともに前回調査時より改善しており、いずれのD Iも0.0となっている。

他の製造業

食料品製造業の前年同期比業況判断D Iは57.1で71.4%の企業が悪化したとしている。

規模別業況

規模別の業況判断D Iは、「1人～29人企業」17.4、「30人～99人企業」10.4、「100人以上企業」6.5とマイナスで、前年同期比業況判断D Iも全ての規模で前回調査時より約20ポイント低下しており業況に低調感が強まっている。

ただし、「100人以上企業」の業況予想D Iは前回調査比13.4ポイント改善し6.5とプラスに転じた一方、「1人～29人企業」の業況予想D Iは11.9ポイント悪化、「30人～99人企業」の同D Iは6.2ポイント悪化しマイナスに転じるなど、企業規模により今後の見方に変化が窺える。

受注状況D I（業種別、規模別）

製造業全社(147社)の受注状況D Iは12.9と、前回より1.4ポイント改善した。

規模別の受注状況はいずれの規模も「不変」が一番多いものの、「100人以上企業」では受注状況D Iは3.2と前回調査時の27.6より24.4ポイント改善したが、「1人～29人企業」と「30人～99人企業」の同D Iはマイナス幅が拡大している。

前年同期比業況判断D Iは、「1人～29人企業」で50.7%の企業が減少したとし、「100人以上企業」でも45.2%が減少とするなど、同D Iは前回調査比28.9ポイント悪化し20.4となっている。

主要5業種の受注状況D Iは14.9となっており、なかでも金属製品では42.9%の企業が「減少」したとして23.8となり、次いで一般機械が21.4となっている。

また、主要5業種の受注予想DIは 8.4 と前回調査時の7.4 から 15.8 ポイント悪化しており、なかでも金属製品が 29.0 ポイント悪化し 19.0 となっている。

業種別・規模別受注状況表

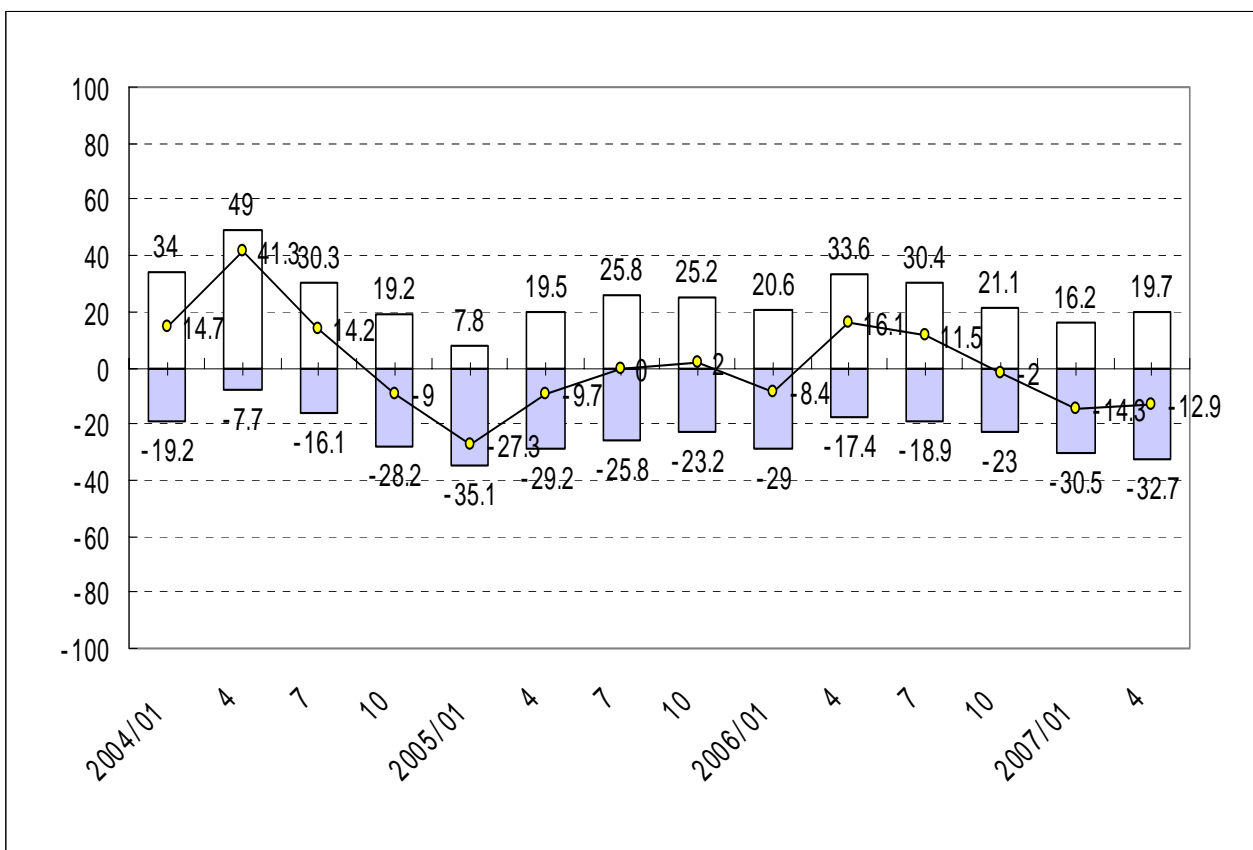
表 - 3

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	
製造業	147	19.7	47.6	32.7	-12.9	147	23.8	32.0	44.2	-20.4	145	17.2	57.2	25.5	-8.3	
規模	1～29人	69	20.3	40.6	39.1	-18.8	69	17.4	31.9	50.7	-33.3	67	16.4	49.3	34.3	-17.9
	30～99人	47	17.0	55.3	27.7	-10.6	47	31.9	34.0	34.0	-2.1	47	14.9	66.0	19.1	-4.3
	100～人	31	22.6	51.6	25.8	-3.2	31	25.8	29.0	45.2	-19.4	31	22.6	61.3	16.1	6.5
中分類	金属製品製造業	21	19.0	38.1	42.9	-23.8	21	28.6	28.6	42.9	-14.3	21	4.8	71.4	23.8	-19.0
	一般機械器具製造業	42	16.7	45.2	38.1	-21.4	42	16.7	26.2	57.1	-40.5	41	12.2	65.9	22.0	-9.8
	電気機械器具製造業	28	28.6	32.1	39.3	-10.7	28	21.4	28.6	50.0	-28.6	28	17.9	50.0	32.1	-14.3
	輸送用機械器具製造業	15	20.0	66.7	13.3	6.7	15	33.3	40.0	26.7	6.7	15	33.3	53.3	13.3	20.0
	精密機械器具製造業	15	13.3	60.0	26.7	-13.3	15	20.0	46.7	33.3	-13.3	14	14.3	64.3	21.4	-7.1

製造業の受注状況DIの推移

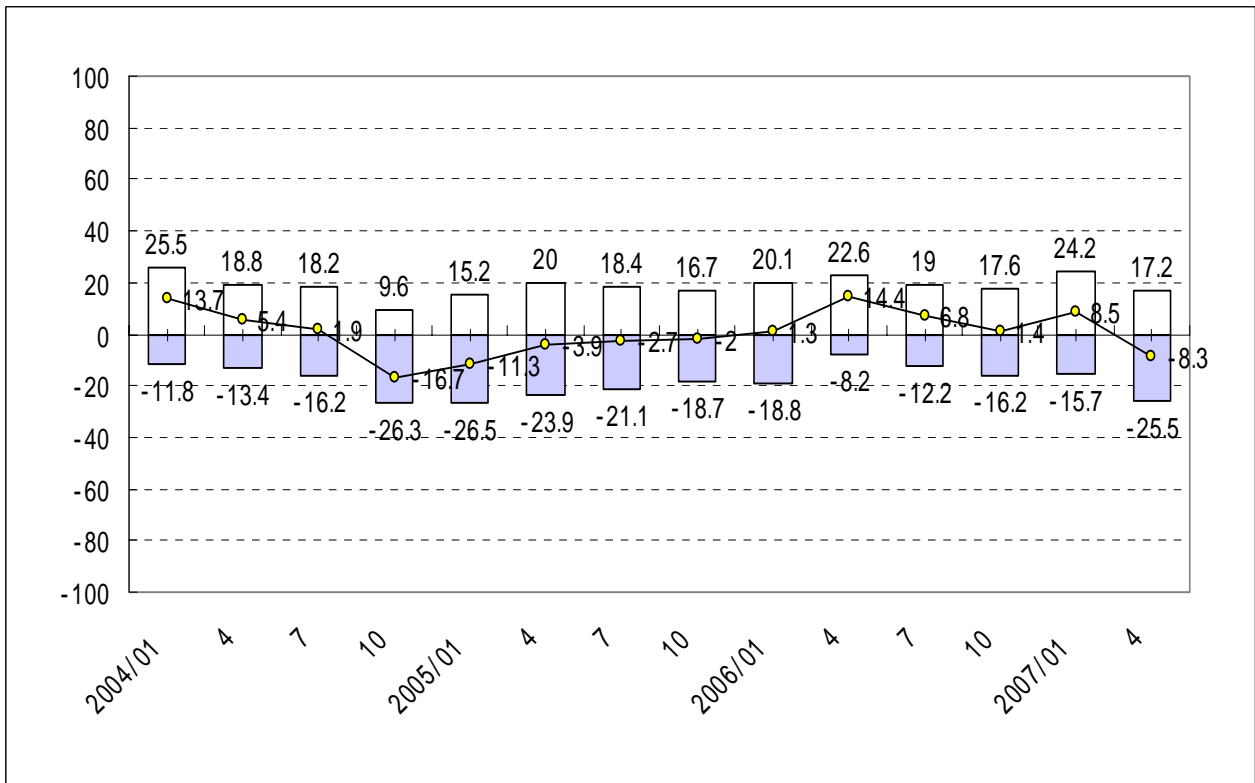
全社：「3ヶ月前」と比べて

グラフ - 4



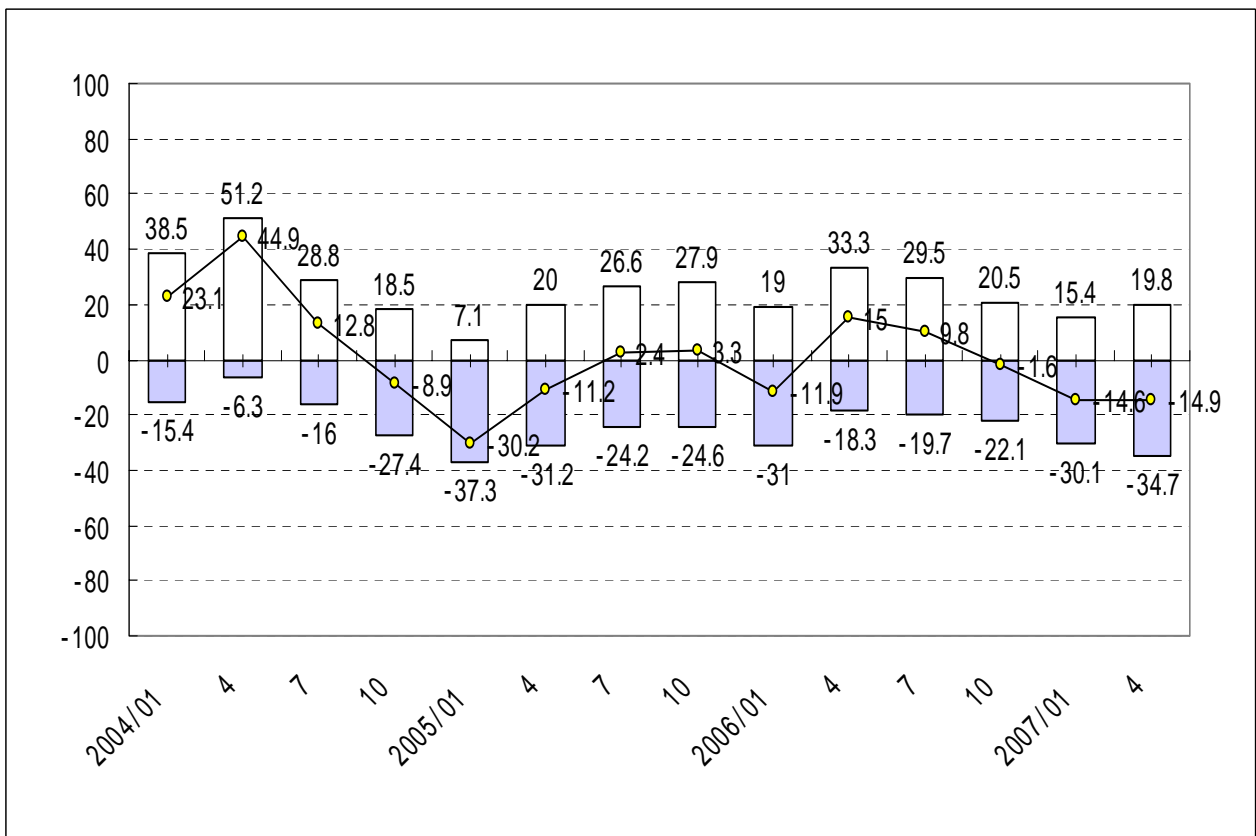
全社：「3ヶ月後」の予想

グラフ - 5



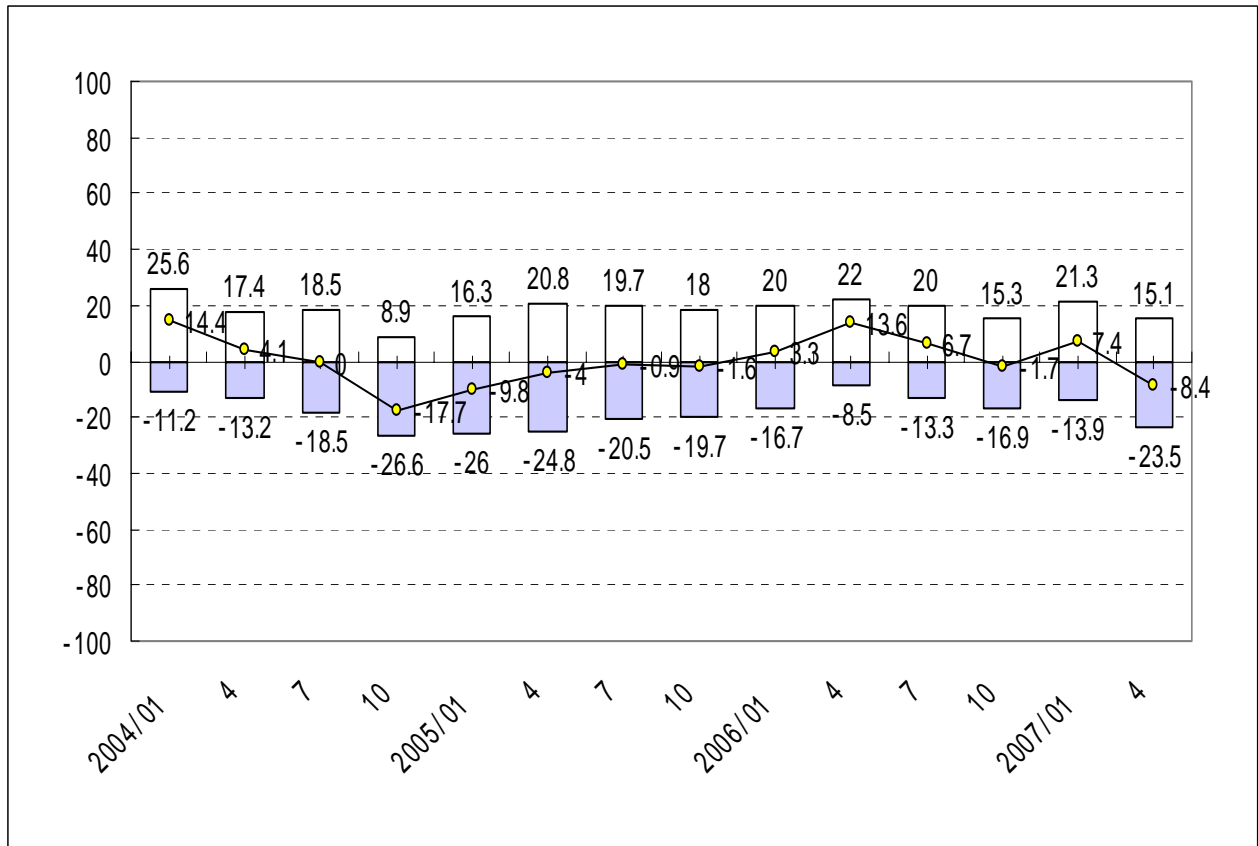
主要5業種：「3ヶ月前」と比べて

グラフ - 6



主要5業種：「3ヶ月後」の受注予想D Iの推移

グラフ - 7



2. 商業・観光サービス業

商業

諏訪地方の4月の天候は、数日の周期で変化するなど寒暖の差の大きい月であり、月間を通し低温、少雨となった。平均気温が低かったことから春物衣料品の動きが鈍く、商業全体での前年同期比業況判断DIは17.6となっているが、各店の営業努力などにより来店客数は前年同期に比べ31.3%の企業で増加した。また、諏訪地方の4月の車庫証明件数（軽自動車除く）は991台で、前年同月比24.6%と大幅に減少している。

食料品 食料品は順調な売れ行きをみせているが、店舗間での価格競争が激しく客単価は伸びていない。

衣料品 平均気温が低かったことから、春物衣料品は全般に低調な売れ行きとなった。

ホームセンター 需要期を迎え園芸用品、ガーデニング用品は順調な売れ行きとなった。

大型家電店 薄型TVや携帯電話の動きは堅調であり、新生活関連商品の動きも順調である。

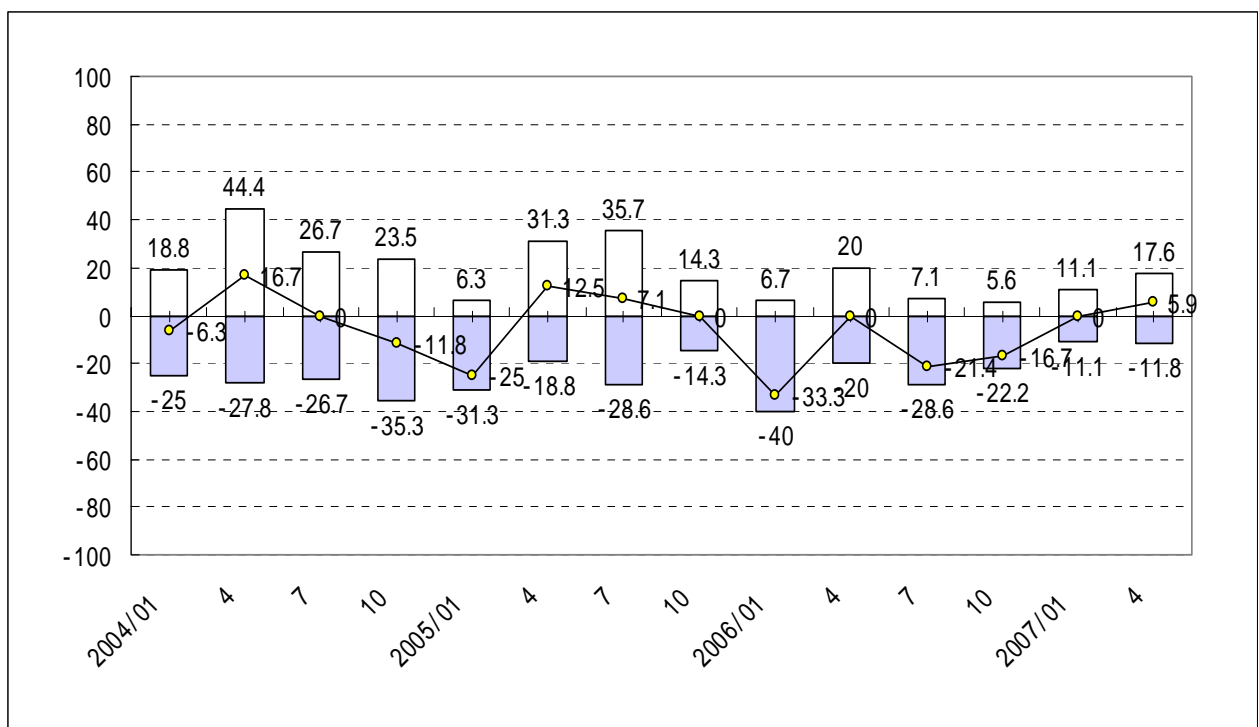
業況、客単価、来店客数

表 - 4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業数	好転	横這	悪化	DI	回答企業数	好転	横這	悪化	DI	回答企業数	好転	横這	悪化	DI
業況	17	17.6	70.6	11.8	5.9	17	17.6	47.1	35.3	-17.6	17	29.4	58.8	11.8	17.6
客単価	17	11.8	58.8	29.4	-17.6	17	17.6	41.2	41.2	-23.5	17	17.6	76.5	5.9	11.8
来店客数	16	43.8	43.8	12.5	31.3	16	31.3	43.8	25.0	6.3	16	43.8	56.3	0.0	43.8

商業全社の業況判断DIの推移：「3ヶ月前」と比べて

グラフ - 8



観光・サービス業

ゴールデンウィーク前半の3連休は天候に恵まれ、地域の行楽地は多くの入り込み客で賑い、ゴールデンウィーク後半の宿泊予約も順調なところが多い。

業況判断DIは、このような季節要因から「3ヶ月前比」ではプラスとなるも、「前年同期比」では10.0とマイナスに転じた。また、3ヵ月後の予想では、NHK大河ドラマ「風林火山」による集客効果や本格的な観光シーズンを迎えることから好転を見込む企業が多く業況予想DIは80.0となっている。

上諏訪温泉・白樺湖・蓼科・霧ヶ峰方面の4月の宿泊客数は、ホテル旅館により区々であるが総体では前年並みの模様である。ただし、地域住民を主体とした宴会・会食等は、諏訪地域内の選挙の影響から減少したとするとところが多くきかれた。

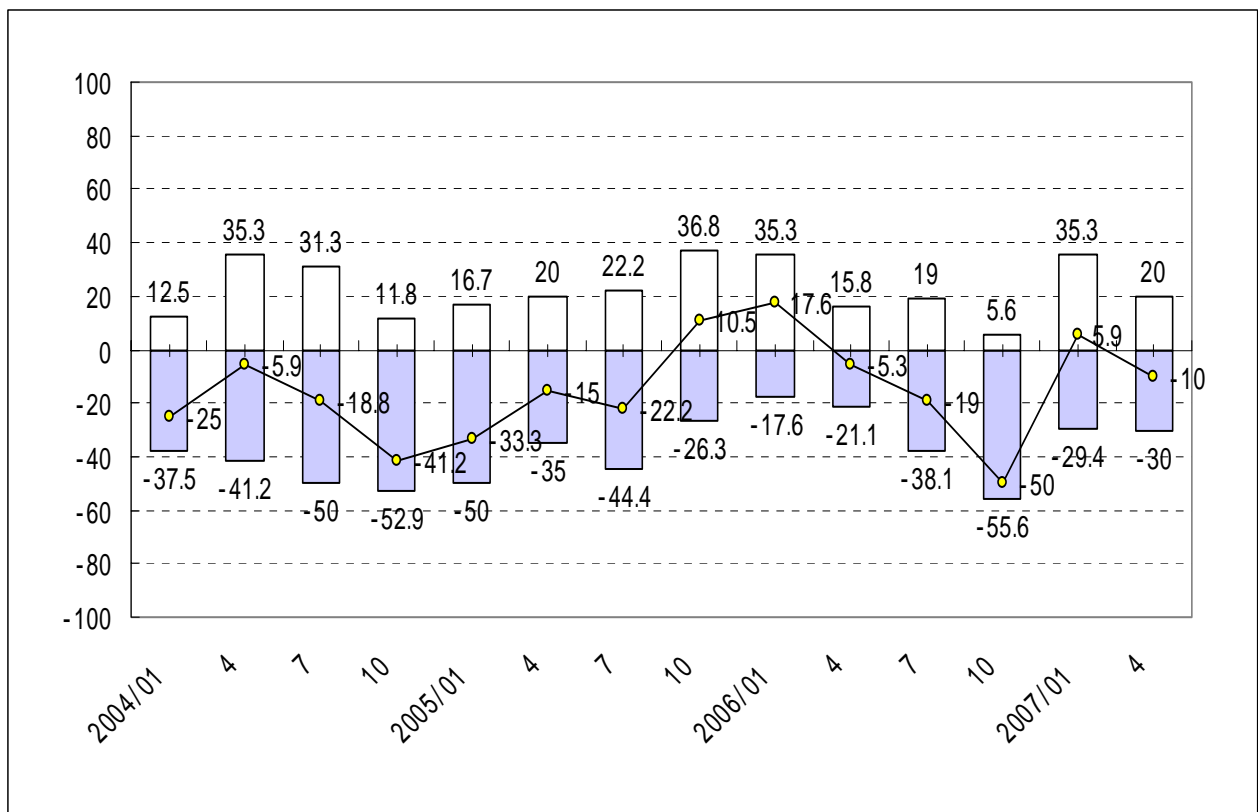
業況、売上、宿泊客

表 - 5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業数	好転	横這	悪化	DI	回答企業数	好転	横這	悪化	DI	回答企業数	好転	横這	悪化	DI
業況	20	35.0	35.0	30.0	5.0	20	20.0	50.0	30.0	-10.0	20	80.0	20.0	0.0	80.0
客単価	18	16.7	55.6	27.8	-11.1	18	11.1	72.2	16.7	-5.6	19	26.3	73.7	0.0	26.3
宿泊客数	20	45.0	15.0	40.0	5.0	20	30.0	35.0	35.0	-5.0	20	70.0	25.0	5.0	65.0

観光・サービス業全社の業況判断DIの推移：「前年同期」と比べて

グラフ - 9



3. 建設業

前回調査時は「平成 18 年 7 月豪雨災害」関連工事の受注が多かったが、今期は公官庁の年度切り替え時期のため公共工事の発注が少なく、業況判断DIは 18.8 となっている。しかし、前年同期比業況判断DIは 6.3、業況予想DIは 12.5 とプラス基調で推移している。

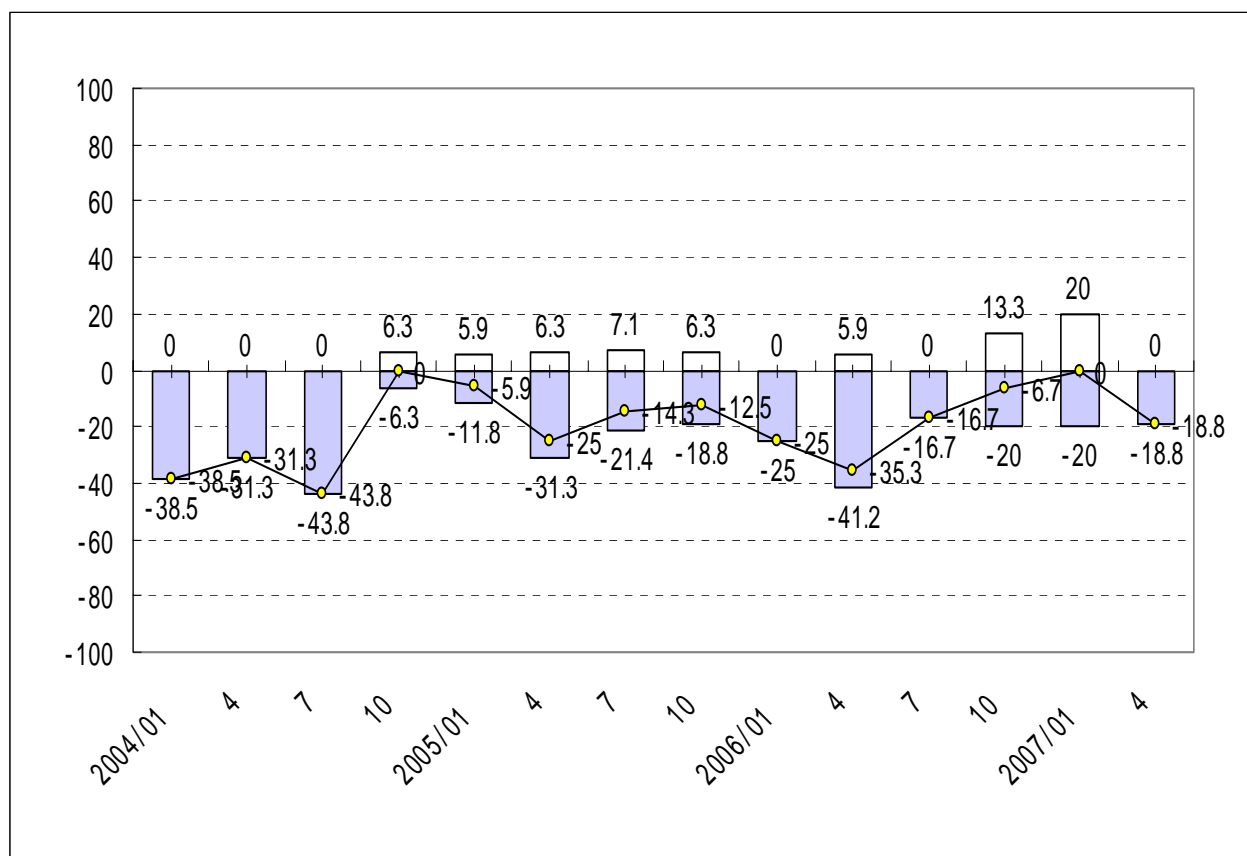
業況、受注状況、外注発注量

表 - 6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答 企業数	好転	横這	悪化	DI	回答 企業数	好転	横這	悪化	DI	回答 企業数	好転	横這	悪化	DI
業況	16	0.0	81.3	18.8	-18.8	16	18.8	68.8	12.5	6.3	16	18.8	75.0	6.3	12.5
受注状況	16	0.0	50.0	50.0	-50.0	16	25.0	37.5	37.5	-12.5	16	37.5	43.8	18.8	18.8
外注発注量	16	0.0	50.0	50.0	-50.0	16	12.5	56.3	31.3	-18.8	16	18.8	62.5	18.8	0.0

建設業全社の業況判断DIの推移：「3ヶ月前」と比べて

グラフ - 10



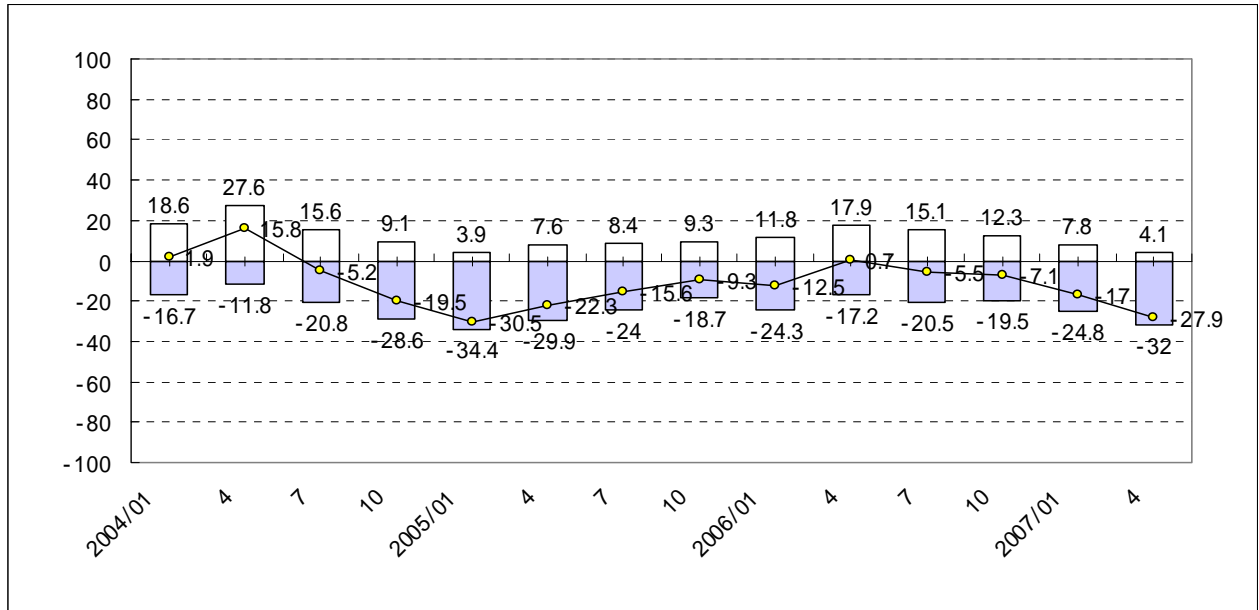
4. 収益性状況

回答全社の収益性D Iは、前回調査比6.2ポイント悪化し 23.5となった。

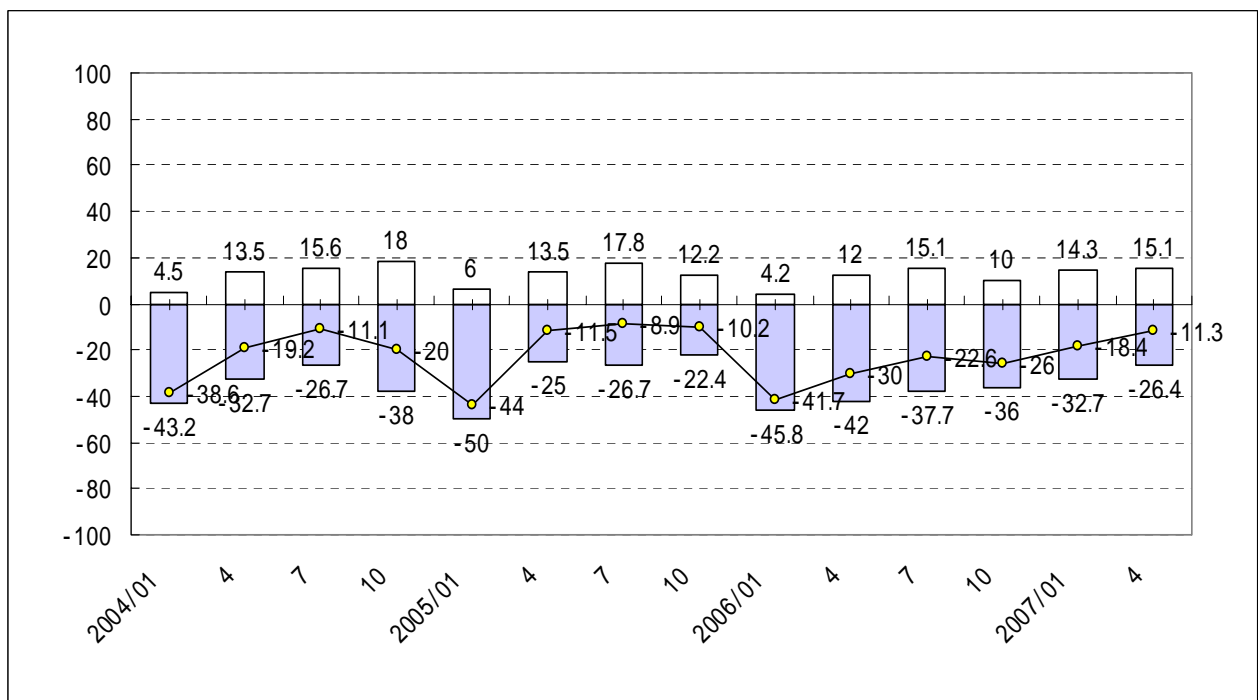
非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）の収益性D Iは 7.1ポイント改善したが、製造業の収益性D Iは 27.9と前回調査時に比べ10.9ポイント低下した。製造業は受注状況に一服感があるなかで原材料高等が受注単価に反映されないこと、非製造業も店舗・企業間の販売競争が激しいことなどから、地域企業の多くが大企業の好調な景況感と異なる実態が窺える。

製造業の収益性D I：3ヶ月前と比べて

グラフ - 11



非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）の収益性D I：3ヶ月前と比べて グラフ - 12



5. 経営上の課題

経営上の課題として、製造業は売上減少・競争激化・受注単価引下げ・ステンレスなどの素材価格の上昇をあげる企業が多く、商業は売上減少・競争激化、建設業は競争激化・売上減少、観光・サービス業は売上減少・単価引下げをあげている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	107	79	9	8	11
単価引下げ	67	46	5	7	9
競争激化	76	51	6	12	7
資金繰り	34	21	2	4	7
人件費	30	19	5	1	5
労働力確保	29	21	5	2	1

6. 諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比
有効求人倍率 【3月】	諏訪公共職業安定所管内	1.26 倍	0.16 ポイント
	岡谷公共職業安定所管内	1.67 倍	0.07 ポイント
手形交換高【4月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	11,617 枚	582 枚
	金額	16,823 百万円	3,753 百万円
うち不渡り 発生状況	枚数	0 枚	0 枚
	金額	0 千円	0 千円
車庫証明取扱件数【4月】 (諏訪・岡谷自家用自動車協会管内)		991 件	24.6 %
新設住宅着工件数 (18.4~19.3月) (諏訪地方事務所管内)		1,942 件	1.1 %

7. 調査概要

1. 調査期間 平成 19 年 4 月末
2. 調査内容 「平成 19 年 4 月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3ヶ月後」の予想
3. 調査方法 アンケート調査及びヒヤリング調査
4. 対象地域 諏訪地域全域
5. 業種 製造業、商業（大型店：売り場面積 501 m²以上）、建設業、観光・サービス業
6. 回答企業数 202 企業
7. 回答率 67.3%

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業他	合計
依頼数	225	30	22	23	300
回答数	148	17	16	21	202